

# 森の学び舎たより

## 2月

森の保育園 共同運営  
2025年2月1日

月1回学童クラブ便り「森の学び舎たより」を配信いたします。その中ではクラブの考え方、連絡事項などを記載しますので、必ず内容をご確認ください。

## 〈今月の目標〉「目標をもって取り組もう」

目標を持つと、自分自身の『意識』が変わります。例えば志望校＝行きたい中学校が定まれば、「合格するために、何が足りないのか？」を真剣に考えるようになるでしょう。例えば、現在の自分の学力はどれほどか。そこに学力ギャップが存在した場合、その差を埋めるために、「自分は何をすればよいのか？」を考え始めます。最初の一步である“やる気”の差は、目標の有無が大きく関係していると言えます。

さらに、目標を持つことの最大のメリットは、『達成した喜び』を味わえることです。夢や目標を達成するまでの道のりは、それが大きければ大きいほど、多くの苦難を伴いますが、達成した時の喜びはひとしおです。



2月2日は節分です！

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日。邪気祓いとして、「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。

昔は季節が冬から春に変わる立春を一年の始まりとしていたので、その前日が季節の分かれ目である節分とされていました。

また、この日は今で言う大晦日にあたる日。季節の変わり目には体調を崩しやすいです。昔の人はこれを邪気つまり鬼のせいだとしていました。鬼を退治するために豆をまく行事が昔の中国であり、それが日本にも伝わりました。そして、これが節分の豆まきとなったのです。

鬼は豆を嫌い、目にぶつくと退治できるという伝説もあったため、鬼を追い払うために豆をまくと良いといわれてきたのです。大晦日という特別な日に、次の一年も無事過ごせるようにという願いをこめて節分の豆まきが行われています。

残寒の候などと二月は言いますが、一年で寒さが一段と増す時期と感じます。

早いもので今年度も残り2か月となりました。子ども達は4月に比べ、様々な経験を通して心も体も大きく成長したように思います。友達と遊びの中でもめていた子も、まずみんなでルールを確認して楽しく遊べるようになった姿や、おやつ時に先生が声を掛けずとも自分達で時計を見て片付け始めるなど、より主体的に活動しています。4月当初はなかなか自分の気持ちを友達に伝えることができず、おうちに帰ってもややしたお子さんもいたかと思います。本人のがんばりに加え、ご家庭とも連携しつつ成長を見守ってきました。そうすると自分自身で少しずつ気持ちを整理し、言葉で伝えられるようにと努力する姿も見られました。今ではお友達に自分から声を掛けたり、遊びが合わないときには断る術も覚えつつあります。また、自分が納得できないと、ついカッとなって心ない一言を口にしてしまう子もいました。学年が上がるに連れて言葉の伝え方や友達との距離感を学び、今では友達と冗談を言い合ったり、言い過ぎた時には素直に謝ったりと、自分の行動を振り替えることが増えたように思います。色々な子と関わることで、「こんな考えの子もいるんだ」「こうすると自分の気持ちは落ち着くんだ」と子ども達自身も少しずつ自分の気持ちと向き合ってきたように思います。今後も自分の気持ちも大切にしつつ、相手の気持ちも考えながら思いやりの心を育てていけたらと思います。

また、さまざまな感染症やインフルエンザが流行しています。予防に気を配り、子どもたちの体調の変化にもいち早く気が付くことができるようしてまいります。



## 2月・3月のお休み

- ・2月8日(土)・2月22日(土)・3月8日(土)・
- ・3月22日(土)・3月29日(土)・日曜、祝祭日

運営カレンダーにつきまして、  
最新はホームページまたは指導員へご確認ください。

しも先生の  
まめちしき

